

- ◎礼拝説教：2020年2月23日
- ◎説教者：中村準一 牧師
- ◎タイトル：帰って来たヤコブ
- ◎今日の聖書：創世記32章1－12節

1次の朝早く、ラバンは孫や娘たちに口づけして祝福を与え、そこを去って自分の家へ帰って行った。

エサウとの再会の準備

2ヤコブが旅を続けていると、突然、神の御使いたちが現れた。3ヤコブは彼らを見たとき、「ここは神の陣営だ」と言い、その場所をマハナイン（二組の陣営）と名付けた。4ヤコブは、あらかじめ、セイル地方、すなわちエドムの野にいる兄エサウのもとに使いの者を遣わすことにし、5お前たちはわたしの主人エサウにこう言いなさいと命じた。

「あなたの僕ヤコブはこう申しております。わたしはラバンのもとに滞在し今日に至りましたが、6牛、ろば、羊、男女の奴隷を所有するようになりました。そこで、使いの者を御主人様のもとに送って御報告し、御機嫌をお伺いいたします。」

7使いの者はヤコブのところに帰って来て、「兄上のエサウさまのところへ行って参りました。兄上様の方でも、あなたを迎えるため、四百人のお供を連れてこちらへおいでになる途中でございます」と報告した。8ヤコブは非常に恐れ、思い悩んだ末、連れてくる人々を、羊、牛、らくだなどと共に二組に分けた。9エサウがやって来て、一方の組に攻撃を仕掛けても、残りの組は助かると思ったのである。10ヤコブは祈った。

「わたしの父アブラハムの神、わたしの父イサクの神、主よ、あなたはわたしにこう言われました。『あなたは生まれ故郷に帰りなさい。わたしはあなたに幸いを与える』と。

11わたしは、あなたが僕に示してくださったすべての慈しみとまことを受けるに足りない者です。かつてわたしは、一本の杖を頼りにこのヨルダン川を渡りましたが、今は二組の陣営を持つまでになりました。12どうか、兄エサウの手から救ってください。わたしは兄が恐ろしいのです。兄は攻めて来て、わたしをはじめ母も子供も殺すかもしれません。

◎宣教

ヤコブは父と兄を騙して、父の祝福を手に入れることに成功しましたが、兄に恨まれて、家を出なければならなくなりました。そこで、母の実家であるカランに行ったのでした。彼はそこで20年間、羊飼いとして働き、成功しました。彼は妻たちと子供たちを連れて、故郷に帰ることにしましたが、兄エサウを恐れしました。はたして、兄はヤコブを赦してくれのでしょうか。兄の性格を考えれば、その可能性はありません。そこで、一時的な和解をして、しばらくの間だけでも、兄と平和に過ごすことを考えました。まともに兄と争うならば、ヤコブは家族と全財産を失ってしまうかもしれません。彼はエサウの機嫌をとるために、莫大な土産を用意しました。エサウと仲良くするために、しもべたちに挨拶の仕方まで教えました。さらに、彼は家族たちを先に行かせ、ひとり残って、夜が明ける

まで、神の使いと組打をして、祝福を求めたのでした。彼は腰の骨を折るほどの大けがをしましたが、神の祝福を得ることができました。そして、イスラエルという名を戴いたのでした。イエス・キリストを信じている私たちも、神の祝福を約束されているのです。私たちも最後まで諦めずに、神の祝福を求め続け、必ず勝利することを信じましょう。